

e-モビリティ等利活用促進事業 e-モビリティ体験サービス

本施設の目的

多様なEVバイクや特定小型原動機付自転車などのe-モビリティを取り揃え、車両特性や操作性、走行安定性の体験に加え、安全な運転方法を学べる機会を提供する。あわせて、販売や普及促進につながるサービスを展開し、都民にe-モビリティの魅力を発信することで、EVバイク等の普及促進を加速させる。

サービス概要

e-モビリティの普及における課題である「体験機会の不足」を踏まえ、乗りたい・乗りたいという意欲を醸成する場として、国内初の常設型e-モビリティ体験施設等を整備する。体験の場に加え、交流(コミュニティ)及び情報発信(車両特性や販売店情報の提供)機能を一体的に備えることで、e-モビリティの魅力を発信し、認知から利用・導入への行動変容につなげ、EVバイク等の普及促進を図る。

利用方法



- 体験料:1回20分220円(税込)
- 安全装備(ヘルメット、プロテクター、グローブ)込
- ※移動型体験施設は無料
- 16歳以上(未成年は保護者の同意必須)
- 保有免許に応じた車両で走行体験

導入車両

クリーンエネルギー自動車導入促進補助金の対象車両または性能等確認制度において国交省保安基準適合を受けている車両。多様なメーカーのEVバイクや特定小型原動機付自転車を取り揃える。

【車両区分別導入台数(R6-R7年度)】

R6年度使用車両
特定小型原付:4台 原動機付自転車:12台
普通自動二輪車:10台 ミニカー:2台

R7年度使用車両
特定小型原付:12台
原動機付自転車:19台
普通自動二輪車:12台 ミニカー:2台



実施場所

【常設施設】幅広い年齢層の来場が見込まれる大型商業施設(都内主要商業エリア)での実施。日常生活に密着した立地特性を活かした、e-モビリティへの関心喚起と安定的な体験機会の提供。

【移動型体験施設】主に23区内の駅周辺、商業集積地、イベント会場等での実施。集客が見込まれる立地および体験走行に必要な安全性・走行空間の確保を前提とした、多様な地域・利用者層への接点拡大。

常設施設



eモビリティパーク東京多摩(武蔵村山市)

移動型体験施設



武蔵境自動車教習所(武蔵野市)



桜美林大学(町田市)



二子玉川ライズ(世田谷区)

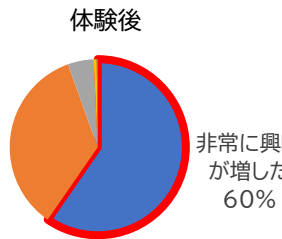
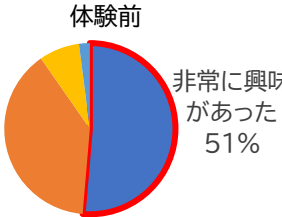


代官山T-SITE(渋谷区)

実施結果

期間中1,612件の体験があった。利用者の約80%がe-モビリティの体験が初。体験前後でe-モビリティへの興味が9ポイント上昇。常設施設と移動型体験会を併用し、体験機会の拡大を図った。

		R6年度					R7年度												実施場所別
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用件数
常設施設		50	215	47	88	122	65	93	51	51	91	56	52	75	24	43	32	31	1,186
移動型	武蔵境自動車教習所												18		47				65
	桜美林大学												30						30
	二子玉川ライズ															117	160		277
	代官山T-SITE															54			54
総利用件数		50	215	47	88	122	65	93	51	51	91	56	100	75	71	214	192	31	1,612



総括と今後の展望

- 本事業は、e-モビリティ普及のボトルネックである「体験機会の不足」を補完し、未体験層への到達を通じて、認知から体験への転換を担う基盤として機能した。
- 常設施設と移動型体験施設により多様な接点を創出した一方、体験から利用・購入への導線強化が課題として残る。
- 今後は、両者を組み合わせた接点拡大と、生活・防災・趣味等の具体的利用イメージの提示を通じ、行動変容につなげていく。